

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろう」



令和4年
第4回定例会
第67号
令和5年2月1日
発行



名寄市議会ホームページ

- 新年のごあいさつ 2
- 定例会で決まったこと・議員協議会 3
- 議決結果・議会運営委員会活動報告 4
- 総合計画集中審議 総括質疑 5
- 一般質問に10人 6～10
- 各常任委員会活動報告・議員研修会 11～13
- 町内会との意見交換会 14～15
- きぼう（有馬 陽平さん、中尾 瞳さん） 16

題字 名寄市立名寄東小学校 木綿 泰我(もめん たいが)さん



新年のごあいさつ

名寄市議会議長 東 千春

皆様には健やかに新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。長引くコロナ禍は終息に向かう状況にはありませんが、市民の皆さん、関係者のご理解ご協力からワクチン接種も進み、症状の重篤化の割合が少なくなったことから、以前の街中の賑いには程遠いものの、少しずつ社会生活が回復しつつあります。

このような環境の中で、遅れていた「ICT」化が、特に教育分野などで進みました。新たな生活様式の実践などによる、ライフスタイルやビジネススタイルの変化が求められる中で、市内全域で光ファイバーの設置工事が進みました。

議会でも資料のデータ化を進め、業務の効率化とペーパーレス化を進めています。通常の会議での使用はもちろんですが、市民の皆さんへの様々なご説明の機会には、資料や画像を見ていただきながらお話ができるなど、有効活用を進めていきます。

議会では年に2回、市民との意見交換会を行っています。今年度からは、これまで通りの大きな会場で1回、少人数の議員で各町内会を中心に訪問させていただき、ご意見等を伺う取り組みを1回として行い、4つの町内会に受け入れていただきました。受け入れていただいた皆さんからは、身近な話題などぎっくばらんに話ができ、来年からもこのような取り組みを続けてほしいなどの感想をいただきました。今年度はスタートの年ですが、来年からも同様な取り組みを進める予定ですので、ぜひ多くの皆さんに受け入れていただきたいと思っております。

私たち議員の任期はあとわずかですが、よりよいまちづくりに向けて、18人全員、全力で努めたいと思います。

結びに、今年一年、名寄市が飛躍、向上の年となり、市民の皆様が健康で実り多い一年となりますようお祈り申し上げます。

迎春

市政クラブ

山田典幸 塩田昌彦 黒井孝義 東川芳彦 今村隆男 遠藤隆彦 五十嵐千絵 清水一夫 清浦勝秀 三浦千春 東千春

市民ネット

高野美枝子 佐久間誠 佐藤靖 倉澤宏 山崎真由美 富岡達彦

公明

高橋伸典

日本共産党

川村幸栄



議会日誌 11~1月

11/2	全国市議会議長会基地協議会 理事会(東京都)	11/15	全国自治体病院経営都市議会協議会 正副会長・監事・相談役による要望(東京都)	12/16	令和4年第4回定例会閉会
11/11	総務文教常任委員会	11/17	経済建設常任委員会	12/27	市民福祉常任委員会
11/14	全国市議会議長会 社会文教委員会(東京都)	11/18	市民福祉常任委員会	1/16	市民福祉常任委員会
11/15	自治体病院議員連盟総会(東京都) 自治体病院全国大会「地域医療 再生フォーラム」(東京都)	11/21	各会派代表者会議	1/17	議会報特別委員会
		11/25	議会運営委員会	1/19	全国自治体病院経営都市議会協議会 正副会長・監事・相談役会議及び要望(東京都)
		11/28	令和4年第4回定例会開会 議員協議会	1/23	市民福祉常任委員会
		12/12	議会報特別委員会	1/26	議員協議会
		12/15	議会運営委員会	1/30	道北支部議長会臨時議長会(旭川市)
				1/31	上川北部市町村議会議長会 (音威子府村)

※CSV型事業：本業として社会問題の解決に取り組むこと。

▽燃料高騰対策生活支援事業費約1億5千万円補正

▽名寄市総合計画（第2次）後期基本計画を定めることについて原案可決

▽令和4年第4回定例会は、11月28日から12月16日までの19日間の会期で開会。24件の議案を審議。「名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について」及び「名寄市国民健康保険税条例の一部改正について」を市民福祉常任委員会に付託

▽開会初日に加藤市長から行政報告

▽「名寄市総合計画（第2次）後期基本計画を定めることについて」2日間の集中審議を行い原案可決

▽14日から16日には、一般質問で10人の議員が市政の課題について質問

主な条例の制定について

☆名寄市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

地方公務員法の一部が改正され、定年年齢が60歳から65歳に引き上げられることに伴い、関係条例について規定等の整備等を行うため、条例を制定しました。

主な条例の一部改正

☆名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について他

人事院勧告に基づき、国家公務員の給与改定が実施されることに伴い、名寄市職員及び会計年度任用職員の給与並びに議員及び特別職の期末手

当の額について、同様の措置を講ずるため、関係条例の一部改正しました。

主な補正予算

☆燃料高騰対策生活支援事業費

物価高騰による市民生活への影響を軽減するため、1億5044万5千円を追加しました。

☆農業生産支援事業費

農業機械・施設の購入・整備費用に対する補助金の計上及び農畜産業者に対する化学肥料・配合飼料の購入の一部を支援するため、9182万7千円を追加しました。

☆住民基本台帳ネットワーク管理事業費

マイナンバーカード交付にかかる夜間臨時窓口開設に要する経費として4282千円を追加しました。

☆ふるさと応援事業費

ふるさと納税寄付金の増加により、記念品発送業務委託料等の経費として1628万6千円を追加しました。

☆感染症対策事業費

新型コロナウイルスワクチン接種にかかる委託料等の経費として1186万7千円を追加しました。

☆街路維持管理事業費

不足が見込まれる街路灯の修繕料、電気料として1264万9千円追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

西條 知加子氏（再任）
名寄市西5条南8丁目

議員協議会

11月28日に行われた議員協議会では、「名寄市総合計画（第2次）後期基本計画・実施計画の策定について」230事業の報告と「名寄市中期財政計画（令和5年度から令和8年度）について」、財政課題も含め説明を受け質疑を行いました。総合計画は中期財政計画との整合性が基本となるが、人口減少や少子高齢化に伴う経済構造の変化や公共インフラの老朽化への対応などで、本市においては収支不足が発生する恐れがあります。そのため、市債発行額は38%を上限とし、財政調整基金・減債基金の合計額の下限額は15億円として、将来に禍根を残さないことが重要と確認しました。



名寄市総合計画（第2次）後期基本計画実施計画・中期財政計画を協議

※付託：さらに詳しく検討を加えるため審査を託すこと。

令和4年 第4回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について	閉会中継続審査
議案第2号	名寄市博物館条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市総合計画（第2次）後期基本計画を定めることについて	原案可決
議案第4号	指定管理者の指定について（名寄市総合福祉センター）	原案可決
議案第5号	指定管理者の指定について（ふうれん地域交流センター）	原案可決
議案第6号	指定管理者の指定について（道の駅なよろ）	原案可決
議案第7号	指定管理者の指定について（サンピラーパーク森の休暇村）	原案可決
議案第8号	指定管理者の指定について（名寄市立食肉センター）	原案可決
議案第9号	令和4年度名寄市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第10号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第11号	令和4年度名寄市立大学特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第12号	令和4年度名寄市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第13号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	名寄市パートタイム会計年度任用職員の報酬、手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	名寄市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	名寄市職員の降給に関する条例の制定について	原案可決
議案第20号	名寄市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決
議案第21号	名寄市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第22号	名寄市国民健康保険税条例の一部改正について	閉会中継続審査
議案第23号	令和4年度名寄市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
議案第24号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

◎女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

議会運営委員会
活動報告

令和4年第4回定例会の日程及び議事運営などを協議するため、11月25日と12月15日に委員会を開催しました。

11月25日の委員会では、会期を11月28日から12月16日までの19日間とすること、一般質問は14日から16日の3日間とし10名の議員が登壇すること、また、名寄市総合計画（第2次）後期基本計画の審議方法等について確認しました。

上程議案は、名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正について他17件と諮問1件で、議案第1号名寄市名風聖苑設置及び管理条例の一部改正については、市民福祉常任委員会に付託し、審査することとしました。

12月15日の委員会では、定例会最終日の追加議案6件で議案第22号名寄市国民健康保険税条例の一部改正については、市民福祉常任委員会に付託し、審査することとしました。

名寄市総合計画集中審議 総括質疑



市内連携で総合計画の推進を

市政クラブ

山田 幸 委員

生涯活躍プロジェクトについて

問 後期計画の重点プロジェクトに、「生涯活躍プロジェクト」が新たに追加されたが、その目的や考え方について。

答 年齢や国籍、性別、障がいのあるなしに関わらず、地域の担い手として参画し活躍できる環境づくりに取り組む。特に生産年齢人口の定着には、雇用の場の確保が必要であり、人口減少対策と同時に産業振興による持続可能なまちづくりにも資する取り組みである。全庁連携体制で推進していく。

大学の独法化と大学院設置

問 後期計画において、「独立行政法人化を検討するとともに大学院設置に向けた取り組みを推進する」と明記されたが、今後の考え方について。

答 大学経営を見える化し、議会がしっかりとチェックする仕組みを作ることは、地域住民が大学経営に関わっていくという点でも重要なポイント。



生涯活躍プロジェクトの推進により全市民が活躍できる環境づくりを

ト。大学間競争が激しくなる中、機動的、弾力的な経営が必要で、法人化は避けられない検討課題である。大学側とも相談しながら前に進めたい。大学院設置についても知の拠点として質を高めるために必要であり、検討を加速させていく。

他の質問 今後の地域コミュニティのあり方について、新設高校と地域との関わりについて、農業・農村の振興について



経済と市民生活のバランスを

市民ネット

佐藤 靖 委員

総合計画と財政

問 今総合計画後期基本計画においては、継続事業でもある大型事業に加え、老朽化公共施設対応、加えて次期廃棄物中間処理施設などが計画されているものの、事業費の不確定要素が強いため、将来に禍根を残さないための財政規律を一部見直して対応しようとしているが、これが身の丈に合った財政運営なのか。また、優先すべきは公共事業推進などによる経済ではなく、市民生活に影響を与えるソフトではないか。その意味では、経済とソフトのバランスを取った市政運営が求められる。

答 市民の期待に応える事業推進と将来に禍根を残さない財政運営に努めること、経済とソフトのバランスは当然と考える。

独立行政法人化と大学院

問 市長が名寄市の財産の一翼と位置付ける名寄市立大学



解体工事が進む旧清掃センター
次期中間処理施設の整備も検討を進めている

の先行きについて、旭川大学の公立化もあり懸念の声もあるが、今計画では「独立行政法人化を検討するとともに、大学院設置に向けた取組を推進します」としている。改めて、加藤市長の決意を伺う。

答 大学を中長期的に高め、持続可能な発展のためにもチャレンジが必要。具体スケジュールが決まれば準備室設置、人員配置を検討する。

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



市民と協働のまちづくりを

市民の力で行政運営を

問 地域づくりの核となる町内会活動は、加入率の低下、役員の高齢化、担い手不足などが懸念される。町内会が抱える課題対応と行政施策推進の関連性は。

答 令和2年度には町内会の現状と課題を把握するために、町内会運営に関するアンケート調査を実施した。その結果を踏まえ、町内会活動の課題解決アドバイス事業を実施している。町内会で取り組むことが難しくなった活動を、コミュニティスクールなどの重層的な組織の中で担っていく仕掛けづくりが必要である。

令和5年度の施策推進は

問 令和5年度予算編成の基本的な考え方は。デジタルトランスフォーメーション(DX)導入の行政の考え方は。ハンディング用ドローンの導入は。

市政クラブ

東川孝義 議員

答 本市の財政運営には、社会保障施策に要する経費の増加や高齢化が進む公共施設、公共インフラへの対応、新型コロナウイルス感染症対策など、多くの課題が山積しており、4点の基本的な考え方で予算編成を行っている。DX施策推進の目的は、市民の皆さんが様々な場面でデジタル化による恩恵を受けられ、誰一人取り残されない共生社会を実現する手法である。ドローンの導入は課題が多いが、先進自治体の動向などの情報収集に努める。



町内会会長と意見交換し課題を共有



ゆとりが生み出す教育効果を

働き方改革の具現化は

問 教師が子ども達の指導に使命感を持ってより専念できる様に、働き方改革が推進されている。下呂市では年間41週ある授業時数(標準では年間35週)に着目し、6時間授業を5時間で終える日を設け、市内全中学校で午後四時半下课を実現している。結果、教師の働き方改革の実現と共に、生徒のゆとりある放課後の活動時間が保証されている。名寄市の授業時数も年間41週であることから、時間割編成に着目した働き方改革に取り組む考えは。

答 名寄市教育改善プロジェクトの中で行われている現場の主体的な取り組みを大切にしながら進めている。提案の内容を先生方にも伝えたい。

部活動の地域移行は

問 部活動の地域移行に対する取り組みの状況と、今後の展望は。

市民ネット

山崎真由美 議員

答 競技団体やスポーツ団体、中学校管理職、PTAの皆さんによる意見交換会を開催し、課題の共有を図っている。現在の部活動指導員登録者は30名であり、部活動指導員設置要綱に必要事項を定め、令和8年度からの本格実施に備えている。まずは、休日の部活動の地域移行を進め、平日の地域移行に繋いでいきたい。

他の質問 命と暮らしを守る高齢者支援、運転免許証返納支援とごみ出し支援は



子ども達のやる気を応援、部活動の地域移行

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



多様性を包容するまちづくり

市民ネット 富岡達彦 議員

インクルーシブ教育について

問 インクルーシブ教育システム構築への、本市の基本理念について伺う。

答 児童生徒のニーズに応じて、教育内容・方法・支援体制を関係機関と連携して充実化を図っていく。

包括的性教育について

問 基本的人権を学び、こどもたちのいのちの安全教育を学ぶためにも、包括的性教育の実践が必須だが見解を伺う。

答 人権や性の多様性、ジェンダー平等などを含め、包括的性教育が必要であると認識。学習指導要領を踏まえ適切な指導を行っていく。

性の多様性教育と教職員研修

問 性の多様性にかかわる教育を包括的性教育の中に、どのように位置づけるか。教職員の理解を深める研修は。

答 北海道が発行している「にじいろガイドブック」を啓発利用している。研修センターでの講習などへの参加を促したい。

パートナーシップ宣誓制度

問 多様性認知と社会包摂がSDGsを含めて世界的潮流になり、制度導入自治体も全国で245と加速している。本市でも前向きに導入を検討する必要があると考えるが。

答 制度を設ける考えには至っていないが、理解拡大に向けた周知等に努めていく。

問 道営住宅が入居条件を拡充するとされているが、同性カップルの入居の考え方は。

答 パートナーシップ制度証明がないと導入はできない。

問 制度導入の検討に向けた市長の見解を伺う。

答 制度導入への機運を高めながら研究を深めていきたい。それを踏まえて検討していく。



「みんなちがいがながら、つながっていく」まちづくり



住みつづけたいまちづくり

市政クラブ 遠藤隆男 議員

福祉施策の推進について

問 地域共生社会の実現に向けた進め方について伺う。

答 地域共生社会の実現に向けては、市民がその中央に立ち、相互の課題を共有し合える、福祉の心を醸成していくことが不可欠であり、第3期名寄市地域福祉計画策定時に社会福祉協議会と合同で実施した、市民アンケートで明らかとなった課題の解消など、関係機関と連携しながら、市民の福祉への意識が向上する取り組みを進めていく。

問 共生型サービスへの考え方について伺う。

答 共生型サービスは、人材確保が困難な地域である本市において、サービス事業所の意向もあるが、「人材不足の解消」「総合的な介護技術の向上」など、地域共生社会を推進する上で、期待される効果もあると考えており、今後事業所とのネットワークにお

いて、随時状況等を確認しながら共生型サービスの必要性について研究し、利用者が安心して生活が続けられるよう推進していく。

他の質問 福祉的就労の拡充・農福連携の広がりへの推進について、子ども子育て支援・障がいのある子ども及びその家族に対する交流支援・医療的ケア児及びその家族に対する支援体制等について



「自立と共生」のまちづくりを

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



デジタルが社会を変える

行政と教育のデジタル化

問 生粋のデジタル環境で生まれた子ども達の学校生活の現状は。

答 一人一台のタブレット端末を授業で使った参考動画視聴や、プログラミング教育から論理的思考力を身につける学習、スマホやSNSへのマナー学習などを行い、時代に即した教育内容となっている。

問 マイナンバーカード取得による働く世代や高齢者へのメリットは。

答 マイナンバーカードを活用したオンラインでの手続き完結が主流になると想定しており、今後は保険証や運転免許証での活用など重要なツールとなる。まずは取得率を上げ、令和5年度から計画を立てて多様なニーズに答えられるよう事業を展開したい。

問 デジタルの産業化を目指して名寄市のデジタル産業の状況は。

市政クラブ

今村 芳彦 議員

答 ホームページ制作を請負う出版業者など例があるが、少ないと推測している。

問 デジタル産業を興すべき施策展開は。

答 将来的に有望と考えており、企業立地促進条例で支援体制を整えているが、本市の魅力を伝えることで誘致への付加価値化にもなり、事業周知に努めたい。



デジタル化での業務効率が市民サービスの向上に繋がる



地域循環型経済の構築

中小企業等の資金調達支援

問 名寄市中小企業特別融資（新型コロナ）の融資と償還について。

答 新型コロナ感染症の経済対策として、3年間の利子補給と低利率融資を行ってきた。また、長期化するコロナ禍に柔軟に対応するため、融資要件の緩和、限度額の引き上げ、据置き期間の拡大など約9億6千万円の融資を行い、一部償還が始まっている。

問 地域循環型経済の活性化

答 消費喚起策として、プレミアム付き商品券事業を3度実施してきた。現状、燃料・

物価高騰の影響から市民生活が厳しい状況は承知しており、新たな消費喚起策については経済団体等と協議を進める。

問 名寄市ずっと住まいる応援事業の継続と見直しについて。

答 市民や施工業者から高い評価を受けている事業であり、事業の継続と加算項目の追加について検討協議している。

問 公共事業の平準化及び人材育成にかかる仕組みづくり。

答 市内事業者への優先発注や平準化は雇用環境やインフラの持続的・安定的な維持管理に繋がるものであり、市の責務として理解している。

他の質問 住宅新築における地元企業への誘導策、公共施設等にかかる公共事業見直し

市政クラブ

塩田 昌彦 議員



家族でお買い物

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



子どもを守る支援の充実を

市政クラブ 五十嵐 千絵 議員

虐待防止のさらなる推進を

問 北海道内の児童相談所での児童虐待に関する相談対応件数は、6421件と過去最多となり、10年前と比べて約4倍に増加したとのこと。本市の児童虐待防止の現状と取り組みについて伺う。

答 児童虐待相談による対応件数は本市においても、子ども家庭総合支援拠点事業開始以来毎年増加しており、虐待や、虐待のおそれがある相談・通報による家庭や関係施設への訪問件数は、令和3年度で123件となっている。虐待のおそれがある場合は、児童相談所や関係機関と協議連携し対応に当たっている。またファミリーサポートセンター事業や一時保育事業、子育て短期支援事業などの制度も有効に活用いただけるよう努めていく。

問 虐待通報数の増加は街頭啓発運動や、児童相談所虐待

相談ダイヤル「189」が認知されてきたからと考えるが、本市の取り組みと認知の受け止めは。

答 毎年11月の児童虐待防止月間では、要保護児童対策地域連絡協議会に所属する関係機関や団体の協力を得て、児童相談所虐待相談ダイヤル「189」のリーフレット等の配布や、啓発ポスターの掲示など普及啓発活動を行っており、相談や通報に直接繋がる取り組みになっていると考えている。引き続き普及啓発に努めていく。

他の質問
ヤングケアラーの支援について



より広い範囲での啓発が望まれる相談ダイヤル



学校施設にエコスクールを

公明 高橋 伸典 議員

学校施設にZEB化の推進を

問 地球温暖化や激甚化・頻発化する災害等に対し、地球規模の環境問題への取り組みでSDGsやカーボンニュートラル達成に向け更なる取り組みが急務である。老朽化した学校施設のエコスクール事業、ZEB化の推進の見解は。

答 学校施設の環境負荷の低減や自然との共生に対応したエコスクールの施設整備の充実の重要性が国の基本的な方針に盛り込まれた。名寄中学校の改築に係る基本設計及び実施設計を進め検討していく際、安全で快適な学習空間の確保、多様な学習内容に対応できる学習施設の整備とともに名寄市ゼロカーボンシティ宣言のもと、エコスクールや学校施設のZEB化も念頭に、環境負荷の低減を図り環境・エネルギー教育の発信拠点となるような学校施設の整備について検討していきたい。

小・中学生のワクチン接種は

問 ワクチンを3回以上接種した人は未接種の人と比べて重症化リスクや入院リスクと死亡リスクがいずれも5分の1に減る。新型コロナウイルス感染症「第8波」の中、保育所・小学校・中学校での学年閉鎖や学校閉鎖に対する感染予防策とワクチン接種対策は。

答 5歳から11歳の小児ワクチン接種は、1・2回目305人、3回目17人、12歳から15歳のワクチン接種は3回目491人、4回目173人が接種を終えている。引き続き感染対策やワクチン接種の普及に努める。



名寄中学校に環境教育の推進とカーボンニュートラル達成を

※ZEB化：快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



インボイス中止・延期の声を

日本共産党 川村幸栄 議員

インボイス制度への対応は

令和5年10月から実施されるインボイス制度。民間企業間の取引で免税業者である中小零細企業やフリーランスが取引から排除されたり、消費税相当分が値引きされるなどの問題が指摘されている。地方自治体との取引においても同様の影響があるというが、一般会計におけるインボイスの必要状況について伺う。

問 一般会計では、消費税法第60条第6項の規定により、消費税申告の義務が免除され、市立大学特別会計も一般会計同様申告義務が免除される。

問 企業会計の上下水道事業で「適格請求書発行事業者でないものを競争入札に参加させない」という自治体もあったようだが、名寄市の対応はあることを求めている。インボイスに対応するかは各事業者の判断によるが、上下水道事業としては経営に大きな影響を与えるものと想定している。

問 学校給食の無償化を

食育基本法では、給食が単なる栄養補給ではなく教育の重要な一環としている。憲法は義務教育の無償を定めている。給食食材も教科書無償と同じく無償と考えるべきでは。

問 財政負担額は、約9千万円。財源確保は非常に難しい。他の質問 生理用品を学校卜イレに

安全・安心でおいしい学校給食を子らに



市民生活に寄り添った施策を

市民ネット 倉澤宏 議員



令和5年度予算編成について

予算要求時における歳入歳出の収支の差額は、約25億4200万円の収支不足となっている。

問 使用料等や国保税の増額の提案が次々されるが市民負担を求める前に新年度予算編成に向け既存事業の見直しが必要では。

問 既存事業の見直しについて、一朝一夕にはいれないが全庁的に取り組んでいく。

問 整備が検討されている図書館について

整備が検討されている図書館について、就任後6か月経過しようとしている教育長はどんなイメージをお持ちか。

問 図書館法に基づく機能を維持しつつ検索機能の強化、ICT機器を活用した情報拠点、また、交流の拠点となるような施設を考えていかなければいけない。

問 浴場の健康増進施設の考えは 総合計画後期計画を見て

も健康保持増進施設としての温浴施設は整合性が取れると思うが、必要性についての考えは。

問 通所介護としてデイサービスを3か所展開している。要介護に至らない方向けの介護予防生活支援サービスもあり、市としての入浴支援はできている。

他の質問 スケートリンクの廃止とコロナ禍における各種事業のあり方について



昭和45年に建築され53年が経過しようとしている市立名寄図書館。現在建て替えが検討されている

総務文教常任委員会活動報告

第10回委員会報告

10月25日に委員会を開催し、市内所管施設の北国博物館、名寄高校駅Nステ、ヤマト運輸発電システム、名寄市風連歴史民俗資料館、名寄中学校の視察を行いました。

王子マテリア名寄工場生産品集約に係る敷地利活用の3つの柱の再生可能エネルギー



ヤマト運輸名寄営業所の再生可能エネルギーシステム実証実験場を視察

実証実験場のヤマト運輸名寄営業所で使用するトラック輸送冷蔵庫の太陽光発電システムによる電池充電状況の視察を行いました。

第11回委員会報告

11月11日に委員会を開催し、名寄市立大学から入学者選抜試験、大学入学共通テストの実施、学生募集オープンキャンパスの実施、助産師課程の申請状況、補正予算について説明を受け、質疑を行いました。

教育委員会から名寄中学校整備事業、智恵文小中学校整備事業・開校準備委員会、新設高校の情報発信、魅力化推進委員会、名寄市博物館条例の一部改正、部活動改革、補正予算について説明を受け、質疑を行いました。

総合政策部から名寄市公共施設等再配置計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンの改定、名寄市総合計画（第2次）後期基本

計画パブリック・コメント実施状況、なよろ健康の森木製遊具修繕業務、スポーツセンター暖房設備等改修工事、スパシャルオリンピックス日本・北海道冬季大会の誘致、全日本ジュニアスキー選手権大会の誘致、スポーツ団体組織統合、補正予算について説明を受け、質疑を行いました。



名寄中学校水道水の調査を行い、異常なしと確認

10月26日、旭川公会堂において議員研修会が開催されました。第一部は榎日本総合研究所より藻谷浩介氏を講師に招き、「道北はコロナ禍をチャンスにできるか」と題して、道北における経済動向や人的交流を重点として、専門的な知見から貴重なご示唆をいただきました。

また、第二部には東北大学災害科学国際研究所の定池祐季氏から「北海道の防災教育、被災者支援の充実に向けて」としてご講演をいただきました。奥尻島在住時の北海道南西沖地震の実体験から、災害の種類や規模、復興支援までの課題と被災者ケアの現状をご教示いただきました。本市における課題を改めて認識した、有意義な研修会となりました。



専門家の講演を傾聴し市政へ活かす

道北支部議員研修会

市民福祉常任委員会活動報告

市民との意見交換会

10月20日第7回委員会では7月6日、7日に実施した意見交換会で出された所管事項に関わる市民の質問内容の回答を受け意見交換を行い、市民の皆様からいただいた要望や意見を反映した施策になるよう活発な議論をしました。結果については11月開催の意見交換会で報告、議会のホームページで公開しています。

名寄市立総合病院手術室増改修事業

11月18日開催第8回委員会では11月1日の手術室増改修工事の入札について、電気設備の応札希望者がなく、入札の中止をしたとの報告がありました。委員から応札がなかった原因及び再入札に関して質疑があり、応札がなかった原因については道内の工事発注量の増加、人材不足などが考えられるが、業界内の情報収集を行い精査していく。再入札の時期は検討中との回

答がありました。



市立総合病院手術室の入札が延期

新型コロナウイルス対応

第7回委員会ではこれまでの接種実績、オミクロン株対応2価ワクチン接種時期、小児の3回目接種、乳幼児の初回接種について報告があり、委員からはBA対応ワクチン等の質疑がありました。また9月26日からの全国一律全数届出の見直し適用について報告がありました。

第8回委員会では市立総合病院から発熱外来状況の報告があり、一時期は小児科外来が多い時もありましたが、現在は落ち着いている等、報告がありました。

名寄市暖房費用緊急支援事業

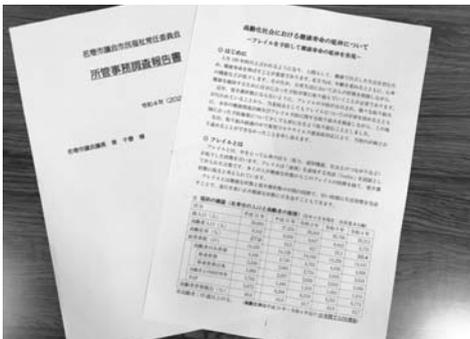
原油価格や物価の高騰により生活に大きな影響を受けている低所得世帯への支援について、市民周知、申請受付を行うなど、今後の予定等について報告を受けました。

名寄市子育て世帯緊急特別給付金

国の子育て世帯生活支援特別給付金の対象とならない子育て世帯に支給されるとの報告がありました。

委員会のテーマ

「高齢化社会における健康寿命の延伸について」を令和4年第4回定例会で報告しました。

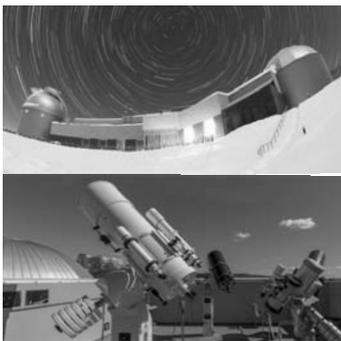


4年間の集大成、所管事務調査報告書が完成

士別市議会との交流会

11月11日に士別市議会改選後初顔合わせとなった議員交流会を開催しました。初めになよろ市立天文台「きたすばる」を視察。プラネタリウムでドームスクリーンに映し出された天文台からの星空を見学後、観測室では、公開天文台としては日本で2番目の大きさを誇るピリカ望遠鏡の説明を受け、実際に稼働する様子を拝見。その他私設木原天文台からの歴史や、職員の日々の仕事内容などについても説明を受けました。

その後会場を移し、意見交換会を行いました。地域課題などについても意見を交わし、改めて近隣自治体との連携の必要性を再認識することが出来ました。



天文台「きたすばる」を視察

経済建設常任委員会活動報告

令和4年産農産物出荷状況

11月17日に第12回委員会を開催し、各部署より所管事項等について報告、説明を受けました。

経済部からは、令和4年産農産物出荷状況について、JAへの出荷実績、見込み数量などの報告がありました。うるち米、もち米共に天候に恵まれ豊作となり、特にもち米の平均反収は約10俵を超える見込みとのことでした。畑作、野菜についても全般的に平年作を上回り、全体的に良い出来秋となったとのことでした。

第4次名寄市食育推進計画

第3次名寄市食育推進計画が今年度で終了することから、令和5年度からの第4次名寄市食育推進計画（案）の内容について、主要部分や変更点について説明を受けました。

第2次名寄市農業・農村振興計画

平成28年に策定した第2次

計画において、情勢の変化や課題に対応したものに修正して後期実施計画を策定していきたいとし、考え方について説明を受けました。



第2次名寄市農業・農村振興計画ダイジェスト版より

化学肥料・配合飼料高騰対策

コロナ禍や世界情勢により、化学肥料及び配合飼料が高騰し、農畜産業経営に大きな影響を及ぼしていることから、農畜産業者の負担を軽減するため、名寄市化学肥料・配合飼料購入支援金給付事業を第4回定例会に補正予算として提出したいとの説明を受け、

内容について報告を受けました。

道路除排雪実施計画

建設水道部からは、令和4年度道路除排雪実施計画について説明があり、昨年同様除雪事業協同組合と10月に契約をし、雪堆積場は昨年同様の箇所であること、排雪ダンプ助成は引き続き実施することなどの報告がありました。



今冬は積雪量が多く排雪作業が急ピッチで進められている

水道料金及び下水道料金の減免

物価高騰による市民・市内事業者の負担軽減を図るため、第3回定例会で補正予算を議決した減免について、11月15日に初回となる11月請求分の納付書発送を完了した旨の報告がありました。

取材しました

令和4年10月13日グラントホテル藤花にて全国自治体病院正副会長・監事・相談役員協議が開催され、東千春会長（名寄市議会議長）の開会挨拶、橋本正道名寄市副市長の挨拶の後、自治体病院に関する要望を原案のとおり決定するとともに、決定した要望書を全加盟団体に送付し、地元選出国会議員等に対して要望活動を行うこととしました。また、第16回地域医療政策セミナーの運営、自治体病院全国大会2022「地域医療再生フォーラム」、今後の会議・活動日程、令和5年度負担金について協議しました。



全国自治体病院正副会長・監事・相談役員協議開催

(参加人数)
合計
38人

貴重なご意見をいただきました

班 編 成

【C班】

◆共和町内会

11月6日(日)18時00分

班長①東 千春
②倉澤 宏
③高野美枝子
④黒井 徹
⑤遠藤 隆男
⑥富岡 達彦

【D班】

◆風連南区町内会

11月20日(日)13時00分

班長①佐藤 靖
②塩田 昌彦
③高橋 伸典
④東川 孝義
⑤今村 芳彦
⑥五十嵐千絵



【C班】共和福祉会館



【D班】ふうれん地域交流センター

※その他、空家問題、スケート場、街路灯、町内会活動などについてのご意見をいただきました。

- 問** 免許証を返納すると農家の場合交通手段がなくなるが、どう考えているのか。
- 問** 他市では、デマンドバスや乗り合いタクシー等、様々な実証実験を行っているが、名寄市では高齢者福祉、公共交通の観点から高齢者の移動手段についてどう考えているのか。
- 答** 総務文教常任委員会として先進地視察などを行い、公共交通の今後のあり方について提言を行った。行政としても来年度を目途に実証実験を行う予定であり、地域の実情と今後の実証実験を踏まえ、どのような形で仕組みづくりができるのか検討していきたい。

- 問** 現在の図書館では、赤ちゃんを預かる場所も狭く寒い。図書館の建築はいつになるのか。また、建築場所はどこになるのか。
- 答** 赤ちゃんも連れていけるような利用しやすい図書館にしたいと考えている。駐車場と相当の敷地が必要であり、まだ場所は決まっていない。

- 問** 飲食店を経営しているが、プレミアム付き商品券は大変よい事業だった。今年は事業化するのか。
- 答** 地方創生臨時交付金が8,000万円交付され、名寄市は燃料高騰対策、非課税世帯や子育て世代への支援、上下水道料金の基本料金減免などに充当しており、今のところ事業化しないと考えている。しかし、市内の市民消費や事業者を守ることは必要と考えており、質していきたい。

町内会との意見交換会及び実施報告会

今回の意見交換会では、議会報告として定例会及び臨時会の審議概要、議会改革、各委員会の活動状況、前回の「市民との意見交換会」で担当部署に確認することとした事項について説明させていただきました。

12月13日には全員参加による実施報告会を行い、議員間の情報共有及び共通認識を図りました。なお、記載されている内容は、11月開催の「町内会との意見交換会」で出された意見を一部抜粋したものであり、2か月以上が経過しているため、現状に合わない意見などもあることをご承知おきください。



町内会との意見交換会を開催

問 Nスポーツコミッションでは、どういう取り組みをしているのか。

答 スポーツの人材育成、健康福祉の増進、地域の活性化の3種類の側面がある。ジュニア指導者講習会やスポーツアカデミー、Nスポキッズ、Nスポウォーキング、街なか運動会など、スポーツ選手だけでなく市民全体が健康になることが目的であり、体育協会などの関係機関と阿部雅司さんを中心に進めてきた。もう少しで形ができてくると思っているので見守っていただきたい。

問 来年の選挙から議員定数が現状の18名から16名になるが、議員定数削減に至った経緯について聞かせてほしい。

答 定数については議会改革の中で協議を行い定数維持と削減の両方の意見があった。現在の名寄市の状況、特に人口減少が顕著であることや財政状況、市民アンケートの結果、他市の定数の状況などを参考にしながら検討。議会の仕組みとして常任委員会のあり方を踏まえ、定数減にあっても資質の向上を狙い進めることで議会運営ができると認識したうえで、2名削減した改選を行うこととした。

問 人口は減少するが、地域は変わらない。定数を減らすことで市民の声を細部まで聞き取れるのか不安である。

答 定数減の側面として認識している。合併当初は風連地域で16名の議員がいたが、現在では2名であるなどの課題もある。会派の控室を設けない自治体が増えるなど、議会もあり方が変わりつつあり、市民の皆様への負託に応じられるよう、議会内での資質向上と議会体制の構築を確立したい。

班 編 成

【A班】

◆東風連町内会
11月27日(日)18時30分

班長①東 千春
②倉澤 宏
③山田 典幸
④山崎真由美
⑤三浦 勝秀

【B班】

◆2区町内会
11月14日(月)13時30分

班長①佐藤 靖
②塩田 昌彦
③佐久間 誠
④川村 幸栄
⑤清水 一夫



【A班】東風連子供と老人福祉館



【B班】2区町内会館

問 農業関係の国の補助事業について、採択条件のハードルが高く、ごく一部の農業者しか対象にならないのがほとんどである。基幹産業が農業である名寄市として、もっと国に働きかけるべきではないか。

答 地方の現場の実態が十分に届いていない面もあるかと思う。引き続き国に働きかけることはもとより、情報収集に努めていくことも必要。ご提言として受け止めさせていただきます。

☆ き ぽ う ☆



名寄での大学生生活

ありま ようへい
有馬 陽平

私は現在、名寄市立大学の3年生として3年目の名寄の生活を送っています。大学では社会福祉学科で、高齢分野や障がい分野、児童分野などの福祉に関することを勉強しています。大学で福祉を学ぶまでは福祉に触れる機会が少なく、あまり理解をしていなかったのですが、勉強するうちに社会において福祉の必要性を強く感じるようになりました。そのため、社会福祉士の資格を取得し、その資格を生かし仕事をしていきたいと考えています。

私は岩手県で生まれ育ちました。岩手も雪が多く寒い土地ですが、名寄の雪の多さと寒さには驚かされ、毎年雪まみれになりながら生活を送っています。名寄はウィンタースポーツが盛んなので冬になると大学の友人とスキーに行くことがとても楽しいです。大学生活も限られてきましたが、名寄をもっと楽しみたいです。



日々向き合う中で

なか お ひとみ
中尾 瞳

私の仕事は「パンを作る」ことです。パンは「生きもの」と言われることもあり、温度や湿度、仕込む量などの違いから起こるパン生地の状態や発酵時間の変化に合わせて作業を進めていく必要があります。パンにとって気持ちよく発酵ができ、ふわっと焼き上がるタイミングはどこなのか、一つひとつ探りながらの毎日です。

小さな工房内での「こねる、形造る、焼き上げる」という淡々で行う単純作業の中にある、たくさんの失敗、小さな挑戦、思いがけない成功。パン作りには考えていたよりも体力と忍耐力が必要で、毎日同じ様で同じではないパンと向き合う作業の奥深さがありました。

「おはよう」から始まり「おやすみ」と終わる、同じ様な外での一日にも小さな気づきがたくさんあるのかもしれない。

表紙の写真は「名寄市立大学カーリングサークル」です。

名寄市立大学カーリングサークルは、毎週1回活動しています。昨年度までは、コロナの影響で活動が制限されていましたが、今年度は多くの学生が活動できています。カーリングの経験が無い学生がほとんどですが、経験の豊富な名寄市役所の職員の方などに指導していただき、皆で楽しく、技術の向上を目指し、これからも活動を続けていきたいです。



編集後記

寅年から卯年へと時が流れていきました▼コロナ禍が3年目となった昨年、感染対策を施し、知恵を出し合っただけの活動が続いてきました。しかし、学校閉鎖など子ども達も試練を経験しました▼加えて、ロシアによるウクライナ侵攻など国際情勢の不安定さもあって物価高騰が生活に重くのしかかっています▼少しでも気持ち前を向く様に、生活が楽になる様に、未来に夢が持てる様にと、議会でも様々な議論が交わされてきました▼議会だよりは、その経過をお伝えしたいと編集に努めてきました。至らなかつた点は更なる取り組みの糧として心に留め、今任期の最終号へと繋いでいきたいと思います▼卯年から浮かぶイメージの通り、ピョンと跳躍ピョンピョンと前進していきたいと思えます。

(真)

